

学長定例記者会見要項

日 時: 平成30年7月19日(木) 11:00~11:45

場 所: 法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

- 1. 「知財経営支援バンカー」育成研修を実施します ~平成30年度「地域中小企業知的財産支援力強化事業」に採択~
- 2. 大学院生が国際珪藻学会で学生ポスター発表賞受賞
- 3. 地域指向性向上プロジェクト「耳で読む太宰」 ~高校生朗読コンクール・群読劇の観覧者を募集します~

お知らせ

- 1. 山形大学COIシンポジウムを開催します 〜健康長寿で快適なスマート未来社会の実現を目指して〜
- 2. 第9回多文化交流コンサート「山形から世界へ」のお知らせ
- 3. つるおか在来作物LAB~つなぐ・つむぐ食文化~
- 4. 高校生対象特別プログラム「生物の多様性を考える」を開催 ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI
- 5. 山形大学農学部「研究シーズ集2018」発行
- 6. 小学生対象「夏だ!科学体験教室」を庄内で開催
- 7. 企業主導型保育所「つぼみ」を9月1日に開所します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成30年8月2日(木) 11:00~11:45

場所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(7月19日)発表者

1. 「知財経営支援バンカー」育成研修を実施します ~平成 30 年度「地域中小企業知的財産支援力強化事業」に採択~

学術研究院 教授(技術経営学/地域価値創成学研究所長) が野 浩幸

山形大学地域価値創成学研究所 プロジェクト研究院 二宮 隆次

A 対理士 スラルス ましゅき 黒沼 吉行

2. 大学院生が国際珪藻学会で学生ポスター発表賞受賞

大学院理工学研究科博士前期課程2年

うえざと ゆき上里 有紀

学術研究院 教授(微古生物学)

リチャード W.ジョルダン

3. 地域指向性向上プロジェクト「耳で読む太宰」 ~高校生朗読コンクール・群読劇の観覧者を募集します~

人文社会科学部1年 石川 佳奈

PRESS RELEASE



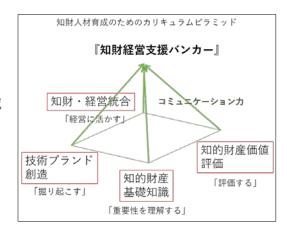
平成30年(2018年)7月19日

「知財経営支援バンカー」育成研修を実施します

~平成30年度「地域中小企業知的財産支援力強化事業」に採択~

【本件のポイント】

- 知的財産をうまく活用できない中小企業に対し、知的財産を活用 しながら事業を成長させていけるよう支援する地域金融機関職員 を育成します。
- 東北地域では唯一、山形大学のみが採択された平成30年度「地域中小企業知的財産支援力強化事業」(経済産業省)として実施するものです。
- 東日本地域(山形、青森、東京都荒川区)広域での開催。独自のカリキュラムと山形大学の研究成果やネットワーク等を活かした実践的な研修です。



【概要】

山形大学地域価値創成学研究所(2017年認定研究所)(所長:小野浩幸(学術研究院教授))は、経済産業省の平成 30年度「地域中小企業知的財産支援力強化事業」の採択を受け、地域金融機関職員を対象とした『知財経営支援バンカー』を育成する研修を実施します。

知財経営とは、自らの強みを見出し、知的財産をうまく活用しながら事業を成長させていくことができる経営をいいます。東北地域では、全国的に見ても特許等の出願件数が少なく、自らの強みを見出し、知的財産をうまく活用しながら事業を成長させていくことができない中小企業が多いといえます。知財経営支援バンカーとは、そのような地域中小企業に対し、知財経営ができるように支援する地域金融機関職員です。山形大学は、これまでも、金融機関職員の「事業性目利き」人材の育成や中小企業支援を行ってきた実績を持っています。これら実績やネットワークを活かして、「知財経営支援バンカー」を育成し、地域産業の高付加価値化に貢献します。

【知財経営支援バンカー育成研修】

1. 目的

中小企業内に眠っている知的財産(目に見えない強み)を「発掘」し、「評価」し、「活かす」ことで、中小企業が知財経営することを、地域金融機関職員が支援できる実践的スキルを身に付けるようにする。 地域中小企業が自らの強みを活かした知財経営ができるよう促進し、地域産業の高付加価値化に貢献する。

2. 研修の特徴

- ①山形大学の技術経営学の研究成果と金融機関とのネットワークを活用
- ②東日本地域(山形、青森、東京都荒川区)広域での開催
- ③独自のカリキュラムを用いて、地域企業の現場を訪問し実事例を素材に行う「PBL: Problem Based Learning」 方式による実践的研修

3. 対象

山形地域、青森地域、東京都の 地域金融機関職員 各25人×3地域 計75人(定員)

4. 研修日程と会場(予定)

山形地域:8月23日~24日、9月6日~7日(4日間) 会場:山形テルサ(山形市) 青森地域:10月16日~17日、11月6日~7日(4日間) 会場:アスパム(青森市) 荒川地域:10月23日~24日、11月13日~14日(4日間) 会場:サンパール荒川(荒川区)

三地域交流研修:11月22日(1日間) 会場:仙台市内

お問い合わせ

山形大学地域価値創成学研究所 研究所長 小野/担当研究員 鈴木

TEL:0238-26-3265 FAX: 0238-26-3265 E-mail: gakukin@yz.yamagata-u.ac.jp

【背景】

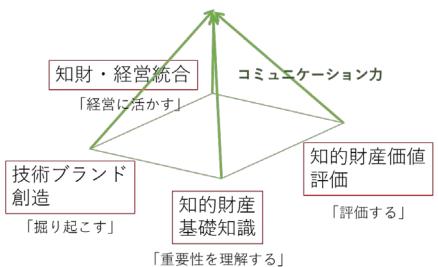
- ・特に東北地域では、自らの強みを見出し、知的財産をうまく活用しながら事業を成長させていくことができない 中小企業が多い。(全国的に見ても特許等の出願数が少ない。)
- ・地域中小企業にとって、地域金融機関はもっとも身近で影響力の大きい存在である。
- ・山形大学は、山形県内の地域金融機関との連携により、金融機関職員の「事業性目利き」人材育成(500名超)と中小企業支援を行ってきた実績を有する。
- ・青森県は、中小企業支援認定機関としての金融機関の活動を活発化させたいとしている。同様に、荒川区は、小規模・零細製造業の割合が高く、金融機関を介した支援を活発化させたいとしている。

【開発する知財教育コンテンツと研修担当予定講師陣】

(1) 独自のカリキュラム

知財人材育成のためのカリキュラムピラミッド

『知財経営支援バンカー』



(2)講師陣

- 〇山形大学学術研究院 教授 小野浩幸(技術経営学/地域価値創成学研究所長) (大学院で知財と経営戦略を統合する講義「知的財産マネジメント」を10年間担当)
- 〇山形大学地域価値創成学研究所 プロジェクト研究員 博士 (工学) 二宮隆次 (元地域金融機関の役員。山形大学大学院理工学研究科技術経営学専攻博士後期課程修了。 経営情報の計量的分析を専門とする。)
- 〇弁理十 黒沼吉行

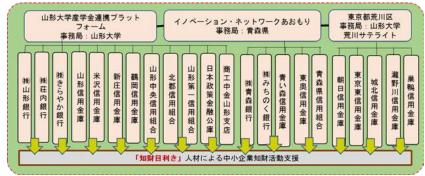
(山形大学大学院理工学研究科技術経営学専攻博士前期課程修了。修士。知的財産権の価値評価を研究。)

- 〇中小企業コンサルタント 渡部敏美
 - (山形大学大学院理工学研究科技術経営学専攻博士前期課程在学中。企業分析手法を研究。)
- 〇山形大学地域価値創成学研究所 連携研究員 金子信弘
 - (元金融マン。産学連携コンサルタントとして中小企業支援経験多数。)
- 〇山形大学地域価値創成学研究所 連携研究員 鈴木昭一 (半導体製造業に勤務経験を有する。産学連携コンサルタントとして中小企業支援経験多数。)

【東日本エリアで広域開催】



広域産学官金連携プラットフォームを形成



知財人材育成コンテンツ開発と企業支援ノウハウを提供

山形大学 地域価値創成学研究所

高度職業人材教育の実績 ・社会人経営人材養成講座500名以上 ・元金融機関等の専門家

知的財産に関する 外部専門家

弁理士・知財コンサルタント

・山形大学大学院MOT専攻修了 ・豊富な地域中小企業支援経験

【参考:平成30年度中小企業知的財産活動支援事業(地域中小企業知的財産支援力強化事業)の概要】

目 的:中小企業等に対する知的財産支援の先導的な取り組みに要する経費を補助し、知的財産支援体制の構築 や連係強化の促進等による地域における知的財産支援の強化を図るとともに、優れた事例を全国展開す ることにより、中小企業等による知的財産の保護・活用を促進する。

所 管:経済産業省

補助率:1/2(先導的)と10/10(広域的)

上限額:1000万円(広域的)

事業期間:1年

採択状況:東北経済産業局管内では山形大学のみ

「知財経営支援バンカー」育成

山形大学地域価値創成学研究所 所長 学術研究院 教授 小野 浩幸

知財経営とは

自らの強みを見出し、知的財産をうまく活用し事業を成長させていくことができる経営

知財経営支援バンカーとは

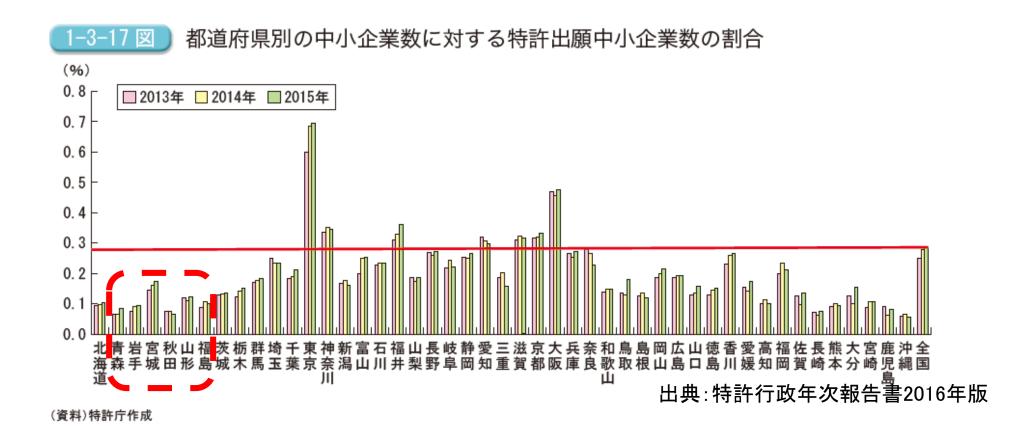
地域中小企業に対し、知財経営ができるように支援する 地域金融機関職員

山形大学地域価値創成学研究所は、経済産業省「地域中小企業知的財産支援力強化事業」の採択を受け『知財経営支援バンカー』 育成研修を実施

背景

全企業数の99.7%を占める中小企業は、特許出願数に占める割合としては わずか13%

知的財産をうまく活用し事業を成長させていくことができない中小企業が多い特に、東北は中小企業からの特許出願数が全国的にも特に少ない地域



特許に限らず知的財産の活用全般に対して消極的、中小企業自らが強みを見出し、知的財産をうまく活用しながら事業を成長させていくことができない中小企業が多い

のれん、技術力、ブランドイメージなど多くの無形資産を持ちながら、企業自らが気づく ことができないため知的財産として経営に役立てることが難しくなっている





地域の中小企業の知的財産活動を活発化させるためには、まず中小企業経営者の意識を変えていくことが求められている

山形大学は、地域中小企業にとって最も身近で、かつ冷静な助言機能を果たしている 地域金融機関に注目

地域金融機関が知的財産活動を支援することで、**地域中小企業の知的財産活動の** 活発化と地域経済の高付加価値化を期待

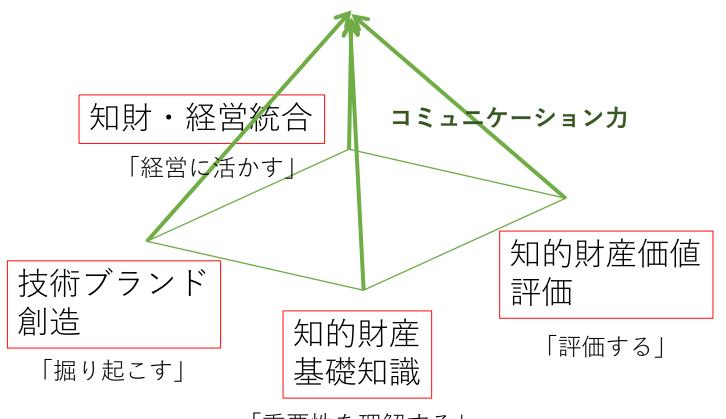
一方、金融機関職員はいわゆる文系の者が多く、**技術力等の評価をはじめとした「事業の目利き」や「知財の目利き」を苦手**としている

そこで、中小企業の知財経営を支援できるように、「知財を掘り起こし」、「知財を評価 し」、「知財を経営に最大限に活かす」スキルを身につける研修を行うこととした

開発する知財教育コンテンツと経験豊富な専門家

知財人材育成のためのカリキュラムピラミッド

『知財経営支援バンカー』



「重要性を理解する|

担当を予定する専門家

山形大学大学院理工学研究科

技術経営学専攻 教授 小野 浩幸

知財と経営戦略を統合する講義「知的財産マネジメント」を10年間担当

山形大学地域価値創成学研究所

プロジェクト研究員 博士(工学)

二宮 隆次

元金融機関役員で山形大学大学院技術経営学専攻修了

弁理士 修士(工学) 黒沼 吉行

山形大学大学院技術経営学専攻修了知的財産権の価値評価で学位

中小企業コンサルタント

敏美

山形大学大学院技術経営学専攻在学中、知財・技術研究で学位研究

山形大学地域価値創成学研究所研究員

信弘

元金融マンで産学連携コンサルタントとして企業支援経験多数

山形大学地域価値創成学研究所研究員

鈴木 昭一

元大手企業、産学連携コンサルタントとして企業支援経験多数





二宮隆次



渡部敏美



黒沼吉行





執行体制

山形大学地域価値創成研究所 (山形大学大学院理工学研究科 ものづくり技術経営学専攻)

代表 小野 浩幸(副専攻長)

「事業・カリキュラムの企画 教材の開発 、講師の派遣

事業オーガナイザー 地域価値創成研究所連携研究員 <u>博士(工学) 二宮 隆次</u> 元 県内金融機関役員 産学金連携プラットフォーム (事務局)山形大学 500人を超える人材育成実績あり 山形県内に本支店を置く地域金融機関等 12機関で構成

知財人材育成研修の実施

連携

連携

イノベーションネットワークあおもり (事務局) 青森県商工労働部

県内5金融機関との調整 知財人材育成講習の実施協力

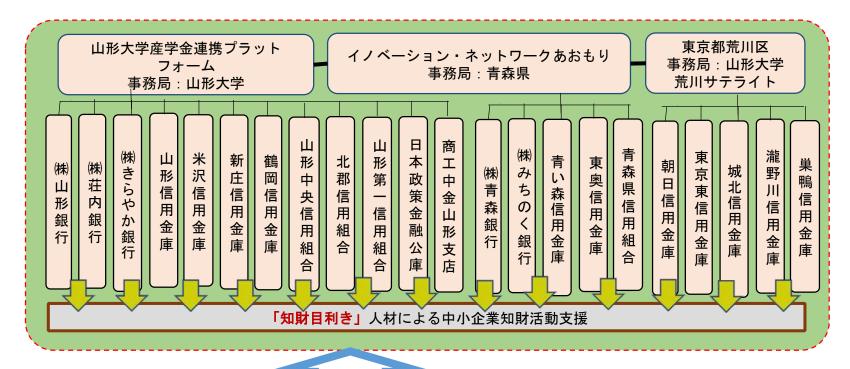
東京都荒川区

(事務局) 荒川区産業経済部経営支援 チーム

区内 5 信用金庫との調整 知財人材育成講習の実施協力 実施体制

秋田ハ 岩手 広域連携 宮城 、栃木 長野 各地域における現地研修に加えて 3地域交流研修会を実施

広域産学官金連携プラットフォームの形成



知財人材育成コンテンツ開発と企業支援ノウハウを提供

山形大学 地域価値創成学研究所

高度職業人材教育の実績

- ·社会人経営人材養成講座500名以上
- ・元金融機関等の専門家

知的財産に関する 外部専門家

弁理士・知財コンサルタント

- ・山形大学大学院MOT専攻修了
- ・豊富な地域中小企業支援経験

~中小企業の知的財産を掘り起こし、 その価値を最大限に生かす~



地域価値創成学研究所 所長 小野浩幸



企業の現場で事例を素材とする独自の教材

地域価値創成とは・・ 人、モノ、文化等の地域に眠る資源を「価値」に変える知識 知財経営とは・・・・ 強みを見出し、知的財産を活用して事業を成長させていく経営

《実践的カリキュラムを実現する豊富な講師陣》

小野浩幸 山形大学大学院理工学研究科教授

博士 (学術)

二宮隆次 山形大学地域価値創成学研究所

プロジェクト研究員 博士(工学)

黒沼吉行 弁理士 修士(工学)

渡部敏美 山形大学地域価値創成学研究所 連携研究員(中小企業コンサルタント)

金子信弘 山形大学地域価値創成学研究所

産学官連携研究員 (元金融マン)

鈴木昭一 山形大学地域価値創成学研究所 産学官連携研究員 (元大手メーカー勤務) 青森、山形、東京都荒川区を つなぐ東日本広域産学官金 ネットワーク



広域連携 交流	E A P STREET OF	一一育成
	定員	471
 目2-3)	25名	14

地 域	前半	後半	会場	定員
山形県	8月 23・24日	9月 6・7日	山形テルサ (山形市双葉町1丁目2-3)	25名
青森県	10月 16・17日	11月 6•7日	アスパム (青森市安方ー丁目1番40号)	25名
荒川区	10月23・24日	11月13・14日	サンパール荒川 (荒川区荒川1丁目1-1)	25名
三地	区交流研修	11月22日	仙台市予定	

監修 特定非営利活動法人 産学連携学会 主催 国立大学法人 山形大学 協力 イノベーションネットワークあおもり、東京都荒川区

※本事業は経済産業省「地域中小企業知的財産支援力強化事業」の採択を受けて実施しています。

お問い合わせ

山形大学地域価値創成学研究所 〒992-8510山形県米沢市城南4丁目3-16 TEL:0238-26-3265/FAX:0238-26-3265 E-mail: gakukin@yz.yamagata-u.ac.jp

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

大学院生が国際珪藻学会で学生ポスター発表賞受賞

【本件のポイント】

- 国際珪藻シンポジウムにおいて、大学院理工学研究科2年の上里有紀さんが学生ポスター発表で2位になり、学生ポスター発表賞を受賞しました。
- 珪藻の一群である*Proboscia* (プロボスシア)属の1500万年前~現在までの化石を観察し、これまで考えられていた以上に多様な形態の化石を発見した研究が評価されました。
- 年代に沿った珪藻の形態の違いを詳しく解明することで、*Proboscia* 属の種は、古環境復元と生層序学において、将来的に指標種になることが期待されます。また、多様性が高いことから、*Proboscia* 属において新種の発見の可能性があります。



Proboscia 禹の化石

【概要】

ドイツ・ベルリンで開催された第25回国際珪藻シンポジウム(2018年6月25日~30日)において、大学院理工学研究科2年の上里有紀さんが学生ポスター発表賞(2位)を受賞しました。

タイトルは "The morphology and taxonomy of Miocene-Quaternary Proboscia spp." (中新世〜第四紀における Proboscia 属の形態・分類について)です。Proboscia 属は珪藻 $^{(*1)}$ の一群で、現生の種類の他に、白亜紀以降に化石として発見されています。これまでこの珪藻の化石については先行研究がほとんどなく、その多様性については過小評価されていました。本研究では、この属の形態的変化を走査型電子顕微鏡及び光学顕微鏡を用いて詳しく観察し、約1500万年前〜現在までの珪藻化石の形態が、これまで考えられていた以上に多様であることを発見しました。年代に沿った珪藻の形態的変化の理解は、古環境復元に役立ちます。さらには、本研究は地層内の化石から地質時代を決定する分野である生層序学にも役立つものと期待されます。

【背景】

Proboscia 属は珪藻の一群で、現生の種類の他に、白亜紀以降に化石として発見されています。しかし、この珪藻では化石について体系的な先行研究がほとんどなく、これまでこの珪藻の多様性については過小評価されていました。

【研究手法・研究成果】

本研究では、新生代中新世から第四紀(約1500万年前~現在)にかけての珪藻化石の形態的変化を、走査型電子顕微鏡及び光学顕微鏡を用いて観察しました。その結果、この期間のこの Proboscia 属の化石には、これまで考えられていた以上の形態の多様性があることが判明しました。









写真:約100万年前の Proboscia 属の化石。同じ種 (Proboscia curvirostris) の中でも形態の多様性が見られた。

お問い合わせ

学術研究院教授(微古生物学)リチャード W. ジョルダン

TEL 023-628-4645

メール jordan@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【今後の展望】

この結果と古環境を照らし合わせることで、*Proboscia* 属の化石は古環境復元に役立つことが期待されます。また、地層内の化石から地質年代を決定する分野である生層序学でも役立つと考えられます。本研究では、中新世〜第四紀の *Proboscia* 属を観察しました。これから、別の時代の *Proboscia* 属も観察し、新種の発見を目指します。

【参考】第25回国際珪藻シンポジウム

ドイツのベルリンで2018年6月25日~30日に開催された、国際珪藻学会主催のシンポジウム。世界各国から約200人が参加。2020年には山形市でこのシンポジウムを開催する予定です。

※用語解説

1. 珪藻: 珪酸の殻を持つ藻類のグループで、殻が化石として残ることから、地層の年代決定、その時代の環境の復元などに有効。

配布先:学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

地域指向性向上プロジェクト「耳で読む太宰」 ~高校生朗読コンクール・群読劇の観覧者を募集します~

【本件のポイント】

- ●第11回山形大学高校生朗読コンクールおよび、第7回群読劇の開催に伴い、 一般の観覧者400名程度を募集いたします。
- ●高校生朗読コンクールは、東北地方の高校生75名の応募者から選ばれた 10名程度が出場します。
- ●群読劇は、基盤共通教育授業の一環として本学学生が企画・運営します。



【概要】

山形大学は「山形大学地域指向性向上プロジェクト」として、地域社会との連携をより深める事を目的に、第11回山形大学高校生朗読コンクールおよび群読劇を9月9日(日)に山形市中央公民館ホールにて開催します。今年は、青森県出身の太宰治の名作を取り上げることからイベント名を「耳で読む太宰」としました。高校生朗読コンクールの課題文は、故郷に対する深く複雑な思いを独特の言い回しで綴った名作『津軽』を取り上げます。今年度は高校生75名の応募があり、現在本選出場者の審査を実施中です。

同時開催の群読劇は、今年度も酒田市出身の演出家佐藤正文さんの指導のもと、本学学生が山形の市民の皆さまとともに太宰治著『走れメロス』の朗読劇を制作・上演します。俳優の磯部勉さん、世古峻佑さんの演技も見どころです。

【開催要項】

日時 : 平成30年9月9日(日) 13時開場 13時30分開演 17時終了予定

会場 : 山形市中央公民館ホール(山形市七日町一丁目2番39号 アズ七日町6階)

入場料 : 無料(入場の事前申込をお願いします。)

第1部 第11回山形大学高校生朗読コンクール

出場者: 東北地方の高校生75名の応募者から選ばれた10名程度が出場 課題文: 太宰治著『津軽』(出場者が各担当部分をそれぞれ朗読します。)

第2部 第7回群読劇「走れメロス」上演

出 演 :磯部勉さん(俳優)、世古峻佑さん(俳優)、一般市民・山形大学学生 40 名程度

上演作品 :太宰治著『走れメロス』

※基盤共通教育「舞台をつくる2018」(山本陽史担当)を受講する山形大学学生が企画・運営します。

【申込方法】

下記の申込先に、電話、FAX または電子メールのいずれかの方法にてお申込みください。

必要事項:申込者氏名(同行者がいる場合は代表の方)

氏名のよみがな

申込者(代表者)電話番号

同行者氏名(複数の場合) ※代表者のほか5名まで同行いただけます。

お問い合わせ 山形大学 EM 部社会連携課

電話:023-628-4016 (平日9時~16時)

FAX: 023-628-4144

e メール: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(お申し込み受付の締切: 9月7日(金)正午まで)

【背景】

山形大学は、平成20年度から東北地方の高校生を対象に山形大学高校生朗読コンクールを実施してきました。平成24年度から、東日本大震災により地域が分断された東北に、文化によるネットワークを構築することを目的に、山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」として、高校生朗読コンクールと同時に群読劇を開催してきました。今年度は地域社会との連携をより深める事を目的に、プロジェクト名を「山形大学地域指向性向上プロジェクト」に一新しました。

一耳で読む太宰一

第一部:第11回山形大学

高校生朗読コンクール

第二部:群読劇「走れメロス」

【日時】平成30年9月9日(日)

13:00開場

13:30開演

終演予定

17:00

【会場】 山形市中央 公民館ホール (アズ七日町 6 階)

入場無料

【入場方法】

お申し込みが必要です。下記の【問い合わせ先】に 電話、FAXまたは電子メールでお申し込みください。 必要事項は裏面をご覧ください。

(お申し込み受付の締切:9月7日(金)16:00まで)

【問い合わせ・お申し込み先】

山形大学EM部社会連携課

電話:023-628-4016 (平日9時~16時)

FAX: 023-628-4144

eメール:embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催:国立大学法人 山形大学



【申し込み必要事項】

- ・申込者氏名(同行者がいる場合は代表の方)
- ・氏名のよみがな
- ·申込者(代表者)電話番号
- ・同行者氏名(複数の場合)
 - ※代表者のほか5名までご同行いただけます。
- ・第一部・ 高校生朗読コンクール 課題「津軽」
- ・第二部・ 群読劇「走れメロス」
- ・第三部・ 審査結果発表・表彰式

【朗読コンクール・群読劇について】

高校生朗読コンクールは例年東北出身の作家の文章・東北を描いた作品を課題として取り上げ、将来の東北を担う若い才能を発掘しています。今年度は予選を通過した東北地方の高校生たちが青森県出身の作家太宰治の

「津軽」をリレーで朗読します。また、群読劇でも太宰治の代表作「走れメロス」を取り上げ、演出に酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として磯部勉さん、世古峻佑さんをお迎えし、山形の一般市民の皆さま、山形大学学生約35名からなる群読隊とともに舞台を作り上げます。



【演出】佐藤 正文 (さとうまさふみ) 山形県酒田市出身。演技トレーナー、演出家、俳優。尚美学園大学芸術 情報学科客員教授、日本大学藝術学部非常勤講師。桐朋学園大学演劇専 攻科卒業。劇団俳優座、安部公房スタジオを経てフリー。俳優座劇場プ ロデュース、無名塾、地人会などの公演に多数出演。米国コロンビア大 学の安部公房シンポジウムで演技術を紹介するなど安部システムの普及 に努める。平成26年から山形市舞台芸術セミナー「朗読講座」の講師 を務める。朗読劇・群読劇を多数演出している。

【出演】磯部 勉 (いそべ つとむ)

東京都出身。劇団俳優座出身。俳優座公演のシェイクスピア作品ではロミオ役やハムレット役などを務めた。また、蜷川幸雄作品や、清水邦夫の木冬社公演などに多数出演。谷崎潤一郎原作の舞台『細雪』(東宝)では長女・鶴子の夫(辰雄)を長年にわたり演じている。『水戸黄門』、大河ドラマ『軍師官兵衛』などの時代劇や、海外ドラマ・映画の吹替えも多く、ハリソン・フォード『スター・ウォーズ』やメル・ギブソン『リーサル・ウエポン』の声を担当している。





【出演】世古 峻佑 (せこ しゅんすけ)

福島県いわき市出身。日本大学芸術学部卒業。『ダメな私に恋してください』『重版出来』(TBS)、放送90年 大河ファンタジー『精霊の守り人』(NHK)、『コード・ブルー-ドクターへリ緊急救命』(フジテレビ)など、テレビドラマに出演。舞台ではHAT『漫劇!! 手塚治虫第一巻』、天丼『バラとスッポンへようこそ』に出演するほか、朗読公演、CMなど幅広く活躍している。

プレス通知資料(概要)



平成30年7月19日 山 形 大 学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形大学COIシンポジウムを開催します

~健康長寿で快適なスマート未来社会の実現を目指して~

山形大学COIプロジェクトでは、高齢者や地域の生活イノベーションをビジョンに掲げ、「日本型スマート未来社会」を実現するための研究開発を進めています。このシンポジウムでは、その研究成果の一部をわかりやすく発表します。

日 時:7月25日(水) 13:00~16:40 場 所:グランドホクヨウ(米沢市金池2丁目3-7)

2. 第9回多文化交流コンサート「山形から世界へ」のお知らせ

伝統楽器やダンス、歌など世界各国の留学生によるコンサートを開催します。

日 時:8月4日(土)16:00~

場 所:遊学館2Fホール

3. つるおか在来作物 L A B ~ つなぐ・つむぐ食文化~

~学生たちが若い世代に向けて庄内の魅力をアピール!~

「山形大学と交流する会」の学生コーディネーターが、庄内の魅力を発信するためにイベント を企画したイベントで、特に大学生や高校生といった若い世代に地元の良さを再認識してもらうことを目的としています。

日 時:8月9日(木)9:30~15:00

場所:山形大学農学部ほか

4. 高校生対象特別プログラム「生物の多様性を考える」を開催 ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI

高校生を対象に、土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介し、土壌微生物・植物・昆虫を対象としたそれぞれの実験・実習を行います。

日 時:9月29日(土)9:00~15:15

場 所:山形大学農学部 3号館401講義室

対 象:高校生/定員20名

申込締切:9月14日(金) ※定員になり次第終了

5. 山形大学農学部「研究シーズ集2018」発行

農学部を担当するすべての教員の研究を、写真や図を使いながらわかりやすく紹介した研究シーズ集を発行しました。

6. 小学生対象「夏だ!科学体験教室」を庄内で開催

夏休みの小学生を対象とした科学体験教室を庄内で実施します。山形大学SCITAセンター学生スタッフとスライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスターが、子どもたちの指導にあたります。

日 時:7月29日(日)10:00~15:00頃

場 所:エスモール 2階 まなびの広場 (鶴岡市錦町2-21)

7. 企業主導型保育所「つぼみ」を9月1日に開所します

「仕事と子育ての両立」を支援するため、山形大学と山形銀行が連携して整備を進めてきた、企業主導型事業所内保育所「つぼみ」が山形大学小白川キャンパス内に完成しました。平成30年9月1日に開所します。

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎山形大学農学部夏期セミナー2018

高校生を対象に、実験やフィールドワークを通して、農学部の最先端の研究を体験できるセミナーです。

日 時:7月30日(月)9:00~12:30

※事前予約要

◎火星大接近観望会のお知らせ ~天文台で火星みてみる?~

火星の最接近日に合わせて、ニクニドームやまがたで観望会を開催します。

日 時:7月31日(火)19:30~21:30(途中参加可)

場 所:ニクニドームやまがた(やまがた天文台)

配布先: 学長記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

山形大学COIシンポジウムを開催します 〜健康長寿で快適なスマート未来社会の実現を目指して〜

【本件のポイント】

- ●7月25日(水)13:00よりグランドホクヨウにて、山形大学COIシンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、山形大学の有機エレクトロニクス研究最新成果や米沢市及び山形県立米沢栄養大学からの発表をポスターやデモ展示を含め、わかりやすく紹介します。
- ●健康長寿で快適なスマート未来社会の実現をテーマに、どなたでもご参加 いただける参加費無料のシンポジウムです。

【概要】

少子高齢化、産業活力の低下といった地域及び日本全体の抱える課題に対して、山形大学センター・オブ・イノベーション(COI)プロジェクトでは、高齢者や地域の生活イノベーションをビジョンにかかげ、誰もが健康で活き活きと暮らせるような「日本型スマート未来社会」を実現するための様々な研究開発を進めております。

本シンポジウムでは、その研究成果の一部を展示やデモを含めて分かりや すく発表します。



【山形大学 COI シンポジウム】

~健康長寿で快適なスマート未来社会の実現を目指して~

●日 時:平成30年7月25日(水) 13:00~16:40

●場 所: グランドホクヨウ 1階ブライトンノース (山形県米沢市金池2丁目3-7)

●対 象: 関心のある方どなたでも

●内 容: 13:00~13:20 開会挨拶・来賓祝辞

13:20~13:40 拠点紹介 13:40~14:40 研究紹介

14:40~15:20 ポスター・サンプル紹介

15:20~16:35 関連発表 16:35~16:40 閉会挨拶

●申 込: 電話および WEB 申込み (参加費無料)

【山形大学センター・オブ・イノベーション(COI)プロジェクトについて】

拠点名 :フロンティア有機システムイノベーション拠点

研究開発期間:平成25年度~平成33年度(予定)

支援 : 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)、文部科学省

お問い合わせ

山形大学 COI 研究推進機構 教授 佐野健志、小助川梓 TEL 0238-26-3585 メール coi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL https://yucoi.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html



健康長寿で快適な スマート未来社会の 実現を目指して

平成30年 7月 25 日水 13:00~16:40

グランドホクヨウ

(1階ブライトンノース)

992-0012 山形県米沢市金池 2 丁目 3-7



少子高齢化、産業活力の低下といった地域および日本全体の抱える 課題に対して、山形大学 COI プロジェクトでは、高齢者や、地域の 生活イノベーションをビジョンにかかげ、誰もが健康で活き活きと 暮らせるような「日本型スマート未来社会」を実現するための 様々な研究開発を進めています。本シンポジウムでは、 その研究成果の一部を展示やデモを含めて

分かりやすく発表します。

★お申込み・最新情報はホームページから 山形大学COI研究推進機構

山形大学 COI

検索

https://yucoi.yz.yamagata-u.ac.jp/index.html TEL 0238-26-3585



共催/ダイバーシティ連携推進会議 山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センタ

後援/国立研究開発法人科学技術振興機構、米沢市

プログラム

13:00~13:05 **開会挨拶 小山 清人** (山形大学長)

13:05~13:10 来賓祝辞 文部科学省

13:10~13:15 **来賓祝辞 中川 勝** (米沢市長)

13:15~13:20 来賓祝辞 佐藤 順一 (COIプログラムビジョン3 ビジョナリーリーダー)

13:20~13:40 拠点紹介 三宅 徹 山形大学COIプロジェクトリーダー (大日本印刷株式会社)

大場 好弘 山形大学COI研究リーダー

スタース・スター (山形大学 理事・副学長)

13:40~14:40 研究紹介 城戸 淳二 (山形大学卓越研究教授)

時任 静士 山形大学COI健康長寿自立ヘルスケア部門長 (山形大学卓越研究教授)

14:40~15:20 ポスター・サンプル紹介

15:20~16:35 関連発表 後藤 誠一 (米沢市健康福祉部 健康課 健康企画主査) 「米沢市が目指す『健康長寿日本一』」

井上 **榮子** (山形大学 男女共同参画推進室 准教授) 「未来の豊かな生活創造への女性研究者の参画」

金光 秀子 (山形県立米沢栄養大学 健康栄養学科 学科長・教授)

ノロ ノヨコ 「栄養成分値からみた『米沢らーめん』の展望」

加藤 守匡 (山形県立米沢栄養大学 健康栄養学科 教授) 「ストレスのセンシングから健康生活を育む」

16:35~16:40 閉会挨拶 飯塚 博 (山形大学工学部長)

研究内容

山形大学COIプロジェクトでは、『人が変わる、社会が変わる、ビジネスが変わる。』 をコンセプトに下記10テーマの研究開発を行っています。

1. 快適生活創造

1-1. 快適空間

塗布プロセスによる高効率有機 E L、透明フレキシブル有機 E L パネル等の革新技術及び快適な生活を実現する光源や照明システムなどの開発・実証を進めています。

1-2. 壁紙ディスプレイ

壁に貼れる超薄型・軽量のフレキシブルディスプ レイを実現するための技術を開発します。

1-3. 快眠ICT

快眠に関するセンサ計測データを収集し解析する ICT基盤システムを開発します。また環境計測 データと個人ビッグデータの複合解析から快眠を 支援するシステムの実現を目指します。

1-4. 快適創エネ

採光性のある透明な有機太陽電池や、超軽量フレキシブル太陽電池を開発し新たな応用を開拓します。

1-5. 快食健康

有機 E L 植物栽培や常温除湿乾燥技術など「食」 に貢献する新たな技術を構築します。











2. 健康長寿自立ヘルスケア

2-1. 有機生体センサ

唾液や汗に含まれる生理活性物質を高感度で検出できるストレスセンサ等を開発します。

2-2. 有機センシングシステム 有機FET型センサと無線通信回路を

有機FET型センサと無線通信回路を極薄フィルム上に印刷プロセスを使って一体形成することで、体に貼って使える新しい生体センサの実現を目指します。

2-3. スマートデバイスプリンタ

自己組織的にインクを微細な配線形状に形成する技術や、大面積・高精度インクジェット技術を開発し、ロールtoロール印刷に適合する革新的な電子デバイス製造技術を構築します。

2-4. マイクロ・ナノ加工

ナノインプリント等の微細な成形加工技術を用いたデバイス形成技術を開発します。

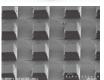
2-5. ソフトバイオマテリアル

独自の「中間水理論」に基づき設計した新しい生体親和性材料を用いて、がん転移の診断や胆管がん治療用の医療器具等を開発します。













PROGRAM

世界各国の留学生による 伝統楽器、ダンス、歌など

参加国

モンゴル、インド、マレーシア、 ブルネイ、タイ、中国、台湾、 カナダ、オランダ、ロシア、 西アフリカ・ベナン、 イギリス等

2018.8.4(土)

Open 16:00 Start 16:30

遊学館 2階ホール

入場無料

主催:山形大学 学士課程基盤教育機構

問い合わせ:山形大学 尤 銘煌(ユウ ミンホアン) TEL:080-6057-3819 E-MAIL:freddyyu@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

第9回 山形から世界へ一多文化交流コンサート

山形大学の留学生をメインとした外国人による民族楽器の演奏・民族舞踊及び歌唱などを通じて、 一般市民に異文化を体験してもらうとともに世界平和を祈願し、地域の国際化を目指します。

開幕前のプレ演奏:ピアノ演奏 (オランダ)&馬頭琴演奏 (モンゴル)

開幕挨拶:アーウィンマーク教授(山形大学小白川キャンバス国際センター長、イギリス出身)

司会:高顥慈(台湾)、アマリン(マレーシア)

前半



出演者 ジャオ、ジョー、

エックス、ターン (タイ)

パーフォマンス

タイ楽器演奏&伝統舞踊



出演者

マリエッタ (西アフリカ・ベナン)

パーフォマンス

西アフリカ・ベナンの歌



出演者

メヘックワドワ (インド)

パーフォマンス

インドダンス (solo)



出演者

「山形大学篠笛愛好会」 桜井和敏(日本・篠笛・尺八師範)、 尤銘煌(顧問、台湾出身)、

網谷光雛(日本)、 楊以琳、高顥慈、

陳雅靜、沈泓學(台湾)、

駱紫莹、胡紅(中国)、

ドナ (ブルネイ)、ゴホヨン (韓国)

パーフォマンス

篠笛演奏

後半



メヘックワドワ (インド)、 コーロミカエラ(南アメリカ)、 村山真菜、東海林舞(日本)、 フォランケイン (オーストラリア)、 胡紅 (中国). チャンドラー ブリドウェル(アメリカ)

パーフォマンス

インドダンス (group)



出演者

トマ、イリーナ (ロシア)

パーフォマンス

ロシア伝統舞踊・

楽器(ホムス)演奏



出演者

スティーフ (オランダ)

パーフォマンス

ピアノ演奏



アキラ、ソフィア(ブルネイ)、 ジョー、エックス、ターン(タイ)、 マリエッタ(西アフリカ・ベナン)、 アンナマエ(イギリス)、 セルジ (ペルー)、イリーナ (ロシア)、 レベッカ(アメリカ)、ダリヤ(ラトビア)、 イザベラ (ドイツ)、粕谷愛 (日本)

指導:三浦剛師範

パーフォマンス

南京玉すだれ

閉幕挨拶:尤 銘煌(ユウ ミンホアン)

山形大学 学士課程基盤教育機構 教授、台湾出身

配布先:学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

つるおか在来作物 LAB~つなぐ・つむぐ食文化~

~学生たちが若い世代に向けて庄内の魅力をアピール!~

【本件のポイント】

- 「山形大学と交流する会」の学生コーディネーターが、庄内の魅力を発信するために企画したものです。特に大学生や高校生といった若い世代に地元の良さを再認識してもらうことを目的としています。
- 庄内地域で世代を超えた交流を通して地域の魅力を発見するプロジェクトは今回が初めてです。
- 若い世代の地元への関心を高めることにより、将来の地域定着につながる ことを期待しています。



【概要】

"生きた文化財"ともいわれる在来作物は本学の江頭宏昌教授(植物遺伝資源学)らの活動によって、その存在や価値などが広く知られるようになりました。今回は、その在来作物を題材として、「山形大学と交流する会」の学生コーディネーターが、庄内地域の魅力を再認識してもらうプロジェクト「つるおか在来作物LAB~つなぐ・つむぐ食文化~」を企画しました。庄内野菜セミナーや在来作物を使った料理などイベントを通して、在来作物の魅力や庄内地域の魅力を参加者のみなさんと共有しようというものです。

これまで、「山形大学と交流する会」の学生 AA は地域活性化のために学部ごとに特色ある活動を行ってきました。米沢では伝統野菜「雪菜」の魅力発信するプロジェクトなどを実施してきましたが、庄内でこのようなイベントを実施するのは初めてです。未来を支える世代の学生たち自身が、地域のことを考え、地元の方々、特に若い世代とその地域の魅力を共有することで、若者の地元定着に貢献していきたいと考えています。

【背景】

「山形大学と交流する会」は、山形大学における研究の発展と人材の育成を支援するとともに、会員企業様と山形大学の職員及び学生との交流を推進することによって、地域の活性化等に寄与することを目的としています。 「山形大学と交流する会」の学生交流コーディネーターは、学生 AA(アドミニストレイティブアシスタント)として大学に採用されており、様々な活動を自ら企画し、実施することで地域の活性化の一環を担っています。これまで、除雪ボランティアの活動や、米沢の伝統野菜「雪菜」を使ったプロジェクトを実施するなど、県内各地で地域の方々との交流を図ってきました。

地域の活性化という点では人口減少は深刻な問題です。特に、進学や就職をきっかけとした人口流出が大きく 影響しています。未来を支える世代の学生たち自身が、地域のことを考え、地元の方々、特に若い世代とその地域 の魅力を再発見し、共有することで、地域に対する価値観づくりの手助けをしていきたいと考えています。

【イベント内容】「つるおか在来作物LAB~つなぐ・つむぐ食文化~」

庄内野菜セミナー ~江頭宏昌教授による特別講義~

◆日時: 平成30年8月9日(木) 9:30~15:00

◆参加費(食事代込み): 1,000 円(高校生 300 円)

◆定員:20名

◆集合・解散場所:山形大学農学部 ◆内容:山形大学農学部附属農場見学

↑応募フォームはこちら

食事会 農家レストラン『菜ぁ』 ~在来作物をふんだんに使った素敵な食事を楽しみましょう♪~ プチグループワーク ~参加者同士で意見交換しませんか?~

◎申込締切:7月31日(火)



エンロールメント・マネジメント部 社会連携課(五味・佐藤) TEL 023-628-4016 又は、山形大学と交流する会 メール yamagata.kouryuu@gmail.com



高校生歓迎!

つるおか。 在来作物LAB



~つなぐ・つむぐ食文化~

世代を超えて伝承された"生きた文 化財"とも呼ばれる在来作物。 在来作物の魅力を発見しに出かけ ませんか??

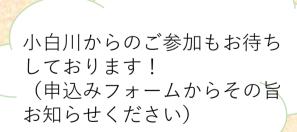
特別講師 江頭宏昌教授

8月9日(木)

9:30~15:00

~活動内容~

- 〇山大農学部附属農場見学
- ○庄内野菜セミナー 江頭教授による特別講義です!
- ○食事会 農家レストラン「菜ぁ」 在来作物を使用したすてきなご飯を 楽しみましょう!!
- ○プチグループワーク



申込み締切日 **7**月**31**日 (火) 定員 **20**名

参加費(食事代込み)1000円(高校生300円)

集合・解散場所 山形大学農学部 主催 山形大学と交流する会

連絡先 yamagata.kouryuu@gmail.com



个お申込み・ お問い合わせ はこちら。 配布先: 学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

高校生対象特別プログラム「生物の多様性を考える」を開催 ひらめき☆ときめきサイエンス〜ようこそ大学の研究室へ〜KAKENHI

【本件のポイント】

- 農学=農業生産のイメージが強い高校生に、農学が食料・生命・環境に 関わるサイエンスであることや研究分野を横断した学際的な研究の面白さ を伝えたい。
- 平成20年度から同プログラムを実施し、今年度11回目。
- 修了生には未来博士号を授与



【概要】

山形大学農学部では、9月29日(土)に鶴岡キャンパスで、高校生を対象に本学の最先端の研究成果の一端を紹介しながら大学での実験・実習を体験してもらうプログラム「ひらめき☆ときめきサイエンス〜ようこそ大学の研究室へ〜KAKENHI『生物の多様性を考える−土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用−』を開催します。(参加無料、要事前申込)。本プログラムでは、土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介し、土壌微生物・植物・昆虫を対象としたそれぞれの実験・実習を行います。また、プログラム中は実施担当の教員のほか、本学の大学院生・学部生・留学生と一緒に楽しく交流できます。今年も多くの高校生のご参加をお待ちしています。

【プログラムの日程および内容】

開催日時: 平成30年9月29日(土) 9時00分~15時15分

開催場所: 山形大学農学部 3号館401講義室(鶴岡市若葉町1-23)

対 象: 高校生/定員20名 参加費: 無料(昼食付き)

内 容: 【講 義】生物の多様性を考える-土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用-

【実験1】土壌微生物を観察する-菌根菌の役割-

【実験2】植物を分析する-ポリフェノールの役割-

【実験3】昆虫を観察する-植食者と捕食者との関係-

申込締切: 平成30年9月14日(金) ※定員になり次第終了

*詳細は別添の資料をご覧ください。

お問い合わせ 山形大学鶴岡キャンパス事務室 企画広報室 TEL 0235-28-2911

メール nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

·m 2018,9/29 9:00~15:15(受付は8:30より開始) ○会場 山形大学農学部3号館4階401講義室 ○対象 高校生/定員20名 ○参加費 無料(昼食付) ○申込締切日 2018.9.14(金) ● 参加ご希望の方は9月14日(金)まで、 E-mail、FAX、電話で下記お問い合わせ・ お申込み先までお申込みください。

生物の多様性を考える



間の相互作用



生物の多様性は、進化および生物圏における生命の維持のため重要ですが、 すべての生物(微生物、植物、動物)は、個々に生きているわけではありません。 それぞれの生物種は、他の生物種とともに一定の生物圏の中に組み込まれて 生存競争のもとで相互依存的に生息しています。

そこで本プログラムでは、最初に土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用について インドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。

次に、土壌微生物、植物、昆虫を対象としたそれぞれの実習を行います。

未来博士号が授与される高校生対象特別プログラム

- ●講師/安田弘法教授/西澤隆教授/俵谷圭太郎教授/村山秀樹教授/佐藤智准教授
- ●講義/生物の多様性を考える ~土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用~
- ●実験1/土壌微生物を観察する ~菌根菌の役割~
- ●実験2/植物を分析する ~ポリフェノールの役割~
- ●実験3/昆虫を観察する ~植食者と捕食者との関係~

主催:山形大学農学部

●お問い合わせ・お申込み先/山形大学農学部企画広報室 山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2836 E-mail:nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp







8:30~9:00 受付(農学部3号館4階401講義室)

9:00~ 9:10 開講式 (あいさつ・オリエンテーション・科研費の説明) 9:10~ 9:40 講義/生物の多様性を考える

……土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

9:40~ 9:50 休憩

9:50~11:00 実験1/土壌微生物を観察する

……菌根菌の役割

11:00~11:10 休憩

11:10~12:20 実験2/植物を分析する

……ポリフェノールの役割

12:20~13:20 昼食(実施担当者・協力学生と参加者の交流会)

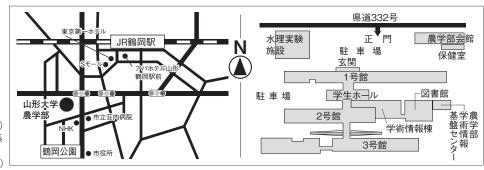
13:20~14:20 実験3・昆虫を観察する-植食者と捕食者との関係

14:20~15:00 クッキータイム・受講生の作文発表

15:00~15:15 修了式(未来博士号授与、アンケート記入、記念撮影)

15:15 終了、解散

土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用



この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、 ファックスでお申し込みください。

fax:0235-28-2836

加 申 込書

●お名前(フリガナ)						□男性	□女性	
●ご住所 〒 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□								
●TEL	●FAX				●メールフ	アドレス		
()		()					
●学校名		●学年		●年齢	Ď	●保護者の同意の有無		
		()学年	()歳	□同意あり		
●家族·学校関係者見学(参観)の有無 □参観あり □参観なし	▶参観ありの場合 ご記入願います	同伴者氏名			住河	Tr	年齢 (歳)
●このプログラムに期待すること								

注意事項

当講座の様子については、写真撮影の上、各種広報誌やWeb上等に掲載することがありますので予めご了承願 います。顔写真の撮影等につき特段のご要望がある場合は、担当職員にお申し出ください。

●ご記入いただいた個人情報については、本事業に関する準備、連絡以外には使用いたしません。●不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ・お申込み先〉山形大学農学部企画広報室 山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2836 E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ひらめき、ときめき、サイエンス 検索 ◆下記のホームページからも お申し込みができます

圖日本宇術振興会

也中国的自由

http://www.jsps.go.jp/hirameki

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

山形大学農学部「研究シーズ集2018」刊行

【本件のポイント】

- 農学部を担当するすべての教員の研究を、写真や図を使いながらわかりやすく 紹介。
- 企業や自治体等の研究ニーズとこれらのシーズが結びつくことにより、共同研究・受託研究等の推進が期待され、さらなる地域貢献が可能となる。
- 農学部の概要や取り組み・就職データ等も記載し、一般の方や大学生・高校生など幅広い層に農学部をPRする。



【概要】

農学部では、日頃の研究活動で得られた研究成果・技術を地域に積極的に発信し、新たな技術・事業の創出に寄与することを目的に「山形大学農学部研究シーズ集 2018」を刊行しました。

農学部を担当する教員がどのような研究活動を行い、それら研究の成果を活かしてどのような地域貢献ができるのかを分かりやすく表現しています。共同研究や技術相談、講演・セミナー、各種委員会の委員選定、地域の課題解決等の参考資料としてぜひご活用ください。

【掲載内容】

- ▶農学部担当教員、客員教授(68名)の研究シーズ紹介
- ▶農学部アクションプラン 2018
- ▶学部概要
- ▶産学官連携



▲A5 判サイズ。研究紹介ページはタテ型にリニューアル

本研究シーズ集は、農学部ホームページ(http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/seeds.html)からも ご覧いただけます。本件に関するお問い合わせ、興味のある研究者とのマッチング等を希望される方は、 下記までご連絡ください。

> お問い合わせ 山形大学鶴岡キャンパス事務室 企画広報室 TEL 0235-28-2911

メール nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先: 学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月12日

小学生対象「夏だ!科学体験教室」を庄内で開催

【本件のポイント】

- ●夏休みの期間中子どもたちに科学の楽しさと不思議さを体験してもらう科学体験教室を今年も庄内で開催します。
- ●子ども達の理科離れに歯止めをかけることを目的に平成25年度から県内 各地で開催しています。
- ●山形大学SCITAセンター学生スタッフ、スライム、クラゲ、蔵王の各マイスターがそれぞれのブースで科学の面白さを伝えます。



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、「やまがた科学の花咲く」プロジェクトで養成された『科学の花咲かせ隊』のサイエンスコミュニケーターと山形大学 SCITA センター学生スタッフが科学を通して地域との交流を積極的に行っています。

毎年、夏休みには庄内で小学生を対象とした科学体験教室を実施しており、今年も科学の楽しさ、不思議さを伝えます。山形大学 SCITA センター学生スタッフと『サイエンスコミュニケーター』スライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスターがそれぞれブースを出展し一緒に子どもたちの指導にあたります。開催は、7月29日(日)鶴岡市のエスモールで行います。

【講座内容】

開催日時 : 平成30年 7月29日(日) 10時 ~15時頃 開催場所 : エスモール 2階 まなびの広場(鶴岡市錦町2-21)

講座内容 : 参加者に各マイスター、山形大学SCITAセンター学生スタッフが各ブースで科学体験をして

もらいます。

・スライムマイスター : のび~るスライムの作成・クラゲマイスター : クラゲの展示とクラゲタッチ

・蔵王マイスター : 葉脈標本の作製

・SCITA センター学生スタッフ : 自分で描いた絵のキーホルダーの作成

【**申込方法等**】 直接会場にお越しください。

参加料 無料

※ 山形大学 SCITA センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自の「やまがた未来科学プロジェクト」に基づき、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。 小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムイベントを提供して昨年は約10,000人の方に参加いただきました

> お問い合わせ 山形大学SCITAセンター (棚井) 電話 023-628-4517

→ 7月29日(日) $10:00\sim15:00$



→ 工スモール2月 きはびの広場

★ 鶴岡市錦町2-21



参加無料·予約不要 小さなお子様は保護者同伴で お願いします



- **のびーるスライム** スライムマイスター
- クラゲ観察会 クラゲマイスター

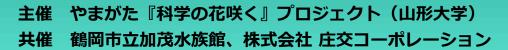








● プラ板キーホルダーをつくろう 山形大学SCITAセンター学生スタッフ





PRESS RELEASE



平成30年(2018年)7月19日

企業主導型保育所「つぼみ」を9月1日に開所します

【本件のポイント】

- 山形大学と山形銀行が連携して小白川キャンパスに開設する企業主導型保育所が 完成しました。
- 産後休暇明けから1歳までの乳幼児を対象(定員10人)とし、定員に余裕がある場合は、地域枠として学生や山形市在住の児童も受け入れます。
- 自園調理を行い、乳幼児の食育に資するとともに、看護師を配置し、保育中に体調不良になった場合も対応し、育児支援を充実します。



【概要】

「仕事と子育ての両立」を支援するため、山形大学(小山清人学長)と山形銀行(長谷川吉茂頭取)が、連携して整備を進めてきた、企業主導型事業所内保育所「つぼみ」が山形大学小白川キャンパス内に完成し、平成30年9月1日に開所します。

働く女性の両立支援に力を入れている両者は、平成29年11月8日に企業主導型保育所の設置・運営に関する相互協力及び連携について協定を締結し、国の助成*を得て、小白川キャンパス内に保育所の整備を進めてきました。完成した「つぼみ」は、産後休暇明けから1歳までの乳幼児が対象(定員10人)で、山形大学の教職員・学生、山形銀行の職員のほか、定員に余裕がある場合は、山形市在住の方が利用可能です(地域枠4人)。また、これまで山形大学が運営してきた大学内保育所「のびのび」(地域枠6名)も、山形銀行の職員も利用できるようになり、利用者を募集しています。

【企業主導型保育所「つぼみ」の概要】

名 称 :山形大学小白川キャンパス企業主導型保育所「つぼみ」

場 所 : 山形市小白川町1丁目3-10 (保育所「のびのび」に隣接、保育室33.05 ㎡、鉄骨造)

対 象 : 山形大学の教職員・学生、山形銀行の職員、山形市在住の方

保 育 : 定員 10 人 (0 歳・1 歳児) 、平日 7:30~18:30、延長保育、自園調理、体調不良児保育 その他 : 運営委託、保育所「のびのび」の調理施設・園庭などを共用、国の整備費補助金 2173 万円

【開所までのスケジュール】

7月19日(木) 「つぼみ」募集開始

8月8日(水) 10時~11時 竣工式(保育施設視察、テープカット、挨拶、記念撮影)

14 時~15 時 内覧会(山形大学・山形銀行の育児休業取得者を対象)

※ 取材をご希望の場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

9月1日(土) 開所

9月3日(月) 保育開始

【申し込み方法】

ホームページの入所案内をご確認いただき、入所をご希望の方は下記担当までお問合せください。(入所希望日の1ヶ月前までにお申し込み、9月1日の入所申込み締切りは8月10日(金)まで。)山形大学男女共同参画推進室 HP http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/

お問い合わせ ・お申込み

山形大学男女共同参画推進室(井上・石山)

TEL 023-623-4937/4938/4939 メール y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※企業主導型保育事業

平成28年4月1日に「子ども・子育て支援法」が改正され、企業主導型事業所内保育を支援(整備費、運営費の助成)する事業が進められています。待機児童の解消をめざし、多様な保育サービスの拡大を図るものです。これにより大学が企業と連携して学内保育所を設置し、認可保育所並みの補助金を受け、子育てを共同で支援できるようになりました。また、地域枠定員を活用し、地域の子育て支援にも貢献できます。

山形大学小白川キャンパス保育所「つぼみ」のご案内

■施設概要

施設の名称 山形大学小白川キャンパス保育所 つぼみ

(認可外保育施設)(企業主導型保育所)

施設所在地 山形市小白川町 1 丁目 3-10

設 置 者 国立大学法人山形大学長 小山清人

*保育所「つぼみ」は「企業主導型事業所内保育所の設置・運営に関する相互協力及び連携協定 (平成29年11月8日)」に基づき,株式会社山形銀行と連携して運営・共同利用を行う。

管 理 者 小白川キャンパス保育所長 玉手英利

運営事業者 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド

開 所 日 平成30年9月1日

■利用対象者

利用できる方

- ・山形大学・山形銀行に勤務する役職員が養育する産後休暇明けから 1 歳までの 乳幼児が対象です。(定員 10 人)
- ・また、入所定員に余裕がある場合には、大学に在籍する学生(社会人学生及び留学生を含む)及び山形市在住者の児童を対象とします。(地域枠として原則定員の2割以内。待機児童も含みます)

一時保育を利用できる方

・山形大学・山形銀行に勤務する役職員及び学生のみ対象となり、緊急一時的に 保育が必要となったときで定員に余裕があるときに利用できます。あらかじめ 一時保育入所申込書を提出し、保育所等による面談を受ける必要があります。

■サービスの概要

基本保育

開所日:月曜日~金曜日

時 間:7時30分~18時30分

対象児:生後57日から満1歳までの乳幼児

延 長 保 育

*職員等の業務の都合又はこれに準ずる事情があるときに利用できます

開所日:月曜日~金曜日

時 間:18時30分~20時30分

対象児:生後57日から満1歳までの乳幼児

一時保育

*入所定員に余裕がある場合のみ実施します

開所日:月曜日~金曜日

時 間: 7時30分~20時30分

対象児:生後6ヶ月から満1歳までの乳幼児

■利用料金

	保育区分	利 用 時 間	一人当たり保育料
	基 本 保 育	〇歳児 1ヶ月あたり	37,100 円
		1歳児 1ヶ月あたり	37,000 円
	延 長 保 育	1時間につき	300 円
	一 時 保 育	1時間につき	400 円
その	大学入試センター試験及 び個別学力検査等のある 土日保育	1時間につき	300 円
他	その他保育所長が保育を 必要と認める時間	1時間につき	400 円

■申込方法

入所の手続き

• 入所を希望する場合は、入所申込書を原則として入所希望日の1ヶ月前までに提出し、 保育所長等による面談を受ける必要があります。入所後1~2週間の慣れ保育(早お帰り) がありますので、この点を配慮してお申込みください。

一時保育の手続き

- 初めて一時保育を希望する場合は、一時保育登録申込書を原則として利用希望日の3週間前までに提出し、保育所長等による面談を受ける必要があります。
 - 一時保育を希望する場合は、一時保育入所申込書を原則として利用日の前日午前9時まで に提出してください。

申 込 先

小白川キャンパス保育所HP

【http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/nobinobi/index.html】より、 入所申込書・一時保育入所申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記までご持参または郵送下さい。



